

## 「とくしまー0作戦」地震対策行動計画の改定(案)

## ○復興指針重点(新規)

「徳島県復興指針」に係る事前復興の取組のうち、重点項目に位置づけられたもので、今回、新たに地震対策行動計画に位置づける取組

## ○目標修正

今回、数値目標を上方修正等する取組

## 【I 取組の追加】

## I 加速する地震津波対策

## 1 地震津波対策の計画的な推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興指針重点(新規)	地区防災計画の策定推進	地区防災計画の策定を支援するとともに、必要と認められる場合は、当該地区防災計画を事前に作成する復興計画や地域防災計画にあらかじめ盛り込んでおくよう、市町村に対し助言・周知する。	—	推進

## II 進化する「命を守る」対策

## 1 県民防災力の強化

## (1) 県民防災意識の啓発

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興指針重点(新規)	災害記憶(遺産)の継承	過去の災害記憶(遺産)を活用した教育活動や関係資料の展示等による啓発活動に取り組む。	—	推進

## (2) 学校における防災教育の推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
新規	「高校生防災士」による防災啓発サポーター活動	防災士の資格を取得した高校生が、県立防災センターの「防災啓発サポーター」としての交流活動を実施することにより、自主防災組織等地域の防災活動を活性化させるとともに知識の向上を図る。	—	推進

## 3 行政の災害対応能力の強化

### (2) 防災拠点施設の機能強化の推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興指針重点(新規)	被災の可能性のある施設の移転先の検討	被災の可能性のある施設について、必要に応じ移転候補先の選定や現地での嵩上げ等の対策について検討する。	—	検討

### (6) 行政の業務継続体制の確保

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興指針重点(新規)	避難訓練等の実施を踏まえた学校防災計画の不断の見直し	学校防災計画に基づいた避難訓練等を実施するとともに、訓練結果等を踏まえた学校防災計画の不断の見直しを実施する。	—	推進
復興指針重点(新規)	万代庁舎の再建築の具体化	被災後の早期復旧のため、被災状況に合わせた再建事業の実施について関係機関と事前協議を行うとともに、事業手続きの簡略化等を検討する。	—	推進
復興指針重点(新規)	入学者選抜への対応	検査当日の災害に対して役割分担や担当に応じた適正な判断ができるよう事前にイメージトレーニングを実施する。	—	推進

#### 4 被災者の迅速な救助・救出対策

##### (1) 救助・救急医療体制の充実強化

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	災害対応訓練の実施を踏まえたBCPの不断の見直し	早期復旧による県立病院の機能維持のため、災害対応訓練を実施するとともに、訓練結果等を踏まえた業務継続計画(BCP)の不断の見直しを実施する。	—	推進

#### 5 要配慮者対策の推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	多言語防災ハンドブック等の作成、配布	地震への備えや発災後の行動について多言語で説明した防災ハンドブック、災害用緊急連絡先、指さし会話フレーズ等を掲載した緊急カードを作成し、県関係機関や市町村、外国人観光客が利用する施設等に事前に配布しておく。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	「支え合いマップ」の作成	社会福祉協議会等と連携し、「支え合いマップ」を作成するなど、平時からの様々な取組を通じて、事前に地域の情報を可視化、共有化しておく。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	社会福祉施設等の災害対応力強化	社会福祉施設等への指導監査等の機会を通じて、BCP(事業継続計画)の策定について指導・支援を実施する。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	児童生徒への「こころのケア」に関する体制の整備	災害時の児童生徒への「こころのケア」のための体制を整備するため、公立学校へのスクールカウンセラーの配置による支援体制を構築するとともに、相談体制の充実・周知を図る。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	児童生徒への「こころのケア」の充実	児童生徒に適切な支援と対応が行えるよう、スクールカウンセラーや教職員に対して「こころのケア」に関する研修を実施するとともに、平時から健康観察や心理教育プログラムを実施する。	—	推進

## 5 要配慮者対策の推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	災害ボランティアの確保	災害時に必要となるボランティアの円滑な確保のため、社会福祉協議会と連携し、関係機関との連絡会議を開催するとともに、ボランティア意識の向上を図るための普及啓発、担い手の養成研修、災害ボランティアセンターの構築・運営訓練等を実施する。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	災害時における多様な支援主体との連携	災害時に多様な支援主体を取りまとめる情報共有会議等を設置し、運営方法、活動内容についての基準やルールを定めるとともに、イメージトレーニングや支援主体を受け入れるための研修会を実施する。	—	推進

## Ⅲ 「助かった命をつなぐ」被災者支援の強化

### 1 災害医療の体制の強化

#### (1) 災害医療体制の構築

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	医療施設の早期復旧・再建策の策定	被災後を見据え、公的医療施設及び民間医療施設の早期復旧・再建を促す支援策について検討する。	—	検討
復興 指針 重点 (新規)	県立病院の早期復旧・再建策の策定	被災後を見据え、関係機関と連携した県立病院の早期復旧・再建策について検討する。	—	検討

## 2 新しい生活様式を取り入れた被災者支援対策

### (1) 避難所運営体制等の整備

	取組	取組内容	評価指標	目標
新規	「災害救助犬」、「セラピー犬・ふれあい活動犬」の育成スキルアップ	大規模災害発生に備えて、動物愛護管理センターに收容される犬の中から、人命救助や行方不明者の捜索活動などを行う「災害救助犬」や、避難所や病院等を訪問し心のケアを行う「セラピー犬」、動物とのふれあい方や命の大切さを学ぶ「ふれあい活動犬」を育成し、「災害救助犬」については、技能の維持・向上のための訓練の継続、「セラピー犬・ふれあい活動犬」については、ふれあい活動の実践によるスキルアップを支援する。	—	推進

### (3) ライフライン対策の推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	ライフライン施設の架設埋設状況の把握	被災後の速やかな復旧のため、管理するライフライン施設の最新の架設埋設状況を把握するとともに、必要に応じて資料のバックアップや関係市町村との情報共有を図る。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	ライフライン施設の復旧・復興	管理するライフライン施設について、耐震化を進めるとともに、必要に応じて民間事業者も考慮した復旧・復興計画の策定や災害対応訓練を実施する。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	災害に強い工業用水道の整備	発災時においても給水が継続できるよう、管路のダブルルート化や他利水管からの受水口設置、防災備蓄倉庫の整備等の事前準備を進めるとともに、民間事業者も交えた事前復興マニュアルに基づく災害対応訓練を実施する。	—	推進

(5) 住宅確保・生活再建支援対策の推進

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	災害ケースマネジメント導入に向けた情報収集	災害ケースマネジメント導入に向け、「災害ケースマネジメント構想会議」に参加するとともに、先進地事例を収集する。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	災害ケースマネジメント実施に向けた協議会の設置・運営	災害ケースマネジメント実施に向け、関係機関による協議会を設置するとともに、支援する側の「連携のあり方」や「支援体制」について検討する。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	災害ケースマネジメントに係る支援ネットワークの構築	復興に向けた支援体制構築のため、行政、社会福祉協議会、ボランティア団体等の福祉を中心とした担当者による月1回のオンライン情報共有会議や多様な主体が参加する研修会等を開催する。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	民間団体等と連携した被災者の住宅確保	徳島県居住支援協議会の参加団体である県内自治体と民間団体が連携し、災害時における被災者の住宅確保について情報共有していく。また、受皿となり得るセーフティネット住宅の登録を促進する。	—	推進

V 立ち上がる復興まちづくり

1 復興まちづくりの検討

	取組	取組内容	評価指標	目標
復興 指針 重点 (新規)	地域継続体制の構築	地域継続推進協議会等を活用し、平時から事前復興に関わる機関が相互に「顔の見える関係」を構築しておく。	—	推進
復興 指針 重点 (新規)	復興訓練の実施	住民等との合意形成を図るためのイメージトレーニング等の復興訓練を継続的に実施しておくよう、市町村に対し助言・周知する。	—	推進

## 1 復興まちづくりの検討

復興 指針 重点 (新規)	地域コミュニティの活性化による持続可能な地域づくり	表彰制度や国、関係団体による助成事業を活用しながら、地域コミュニティの持続の維持・活性化に向けた取組を支援するとともに、優れた取組事例を幅広く普及し、集落再生の実現を図る。	—	推進
------------------------	---------------------------	--	---	----

## 【Ⅱ 重要業績指標の見直し】

### Ⅱ 進化する「命を守る」対策

#### 1 県民防災力の強化

##### (3) 防災を担う人材の育成

	取組	取組内容	評価指標	現目標	新目標
目標 修正	防災士資格取得の支援	自助・共助の要となる地域防災リーダーとして「防災士」の資格取得を支援する。	防災士登録者数	累計3,800人 (R4)	累計4,800人 (R4)
目標 修正	避難所運営リーダーの養成	市町村が実施する自主防災組織の結成促進と活動活性化の支援、避難所運営リーダーの養成、県民の「防災意識」の向上を目的とした防災出前講座の開催など、地域防災力の強化促進を図る。	快適避難所運営リーダーカード交付者数	累計370人 (R4)	累計410人 (R4)

#### 2 緊急的な津波対策の推進

##### (3) 津波避難困難地域の解消

	取組	取組内容	評価指標	現目標	新目標
目標 修正	被災時の避難路の確保	津波避難困難地域の解消をはじめ、地域の安全性を確保するため、老朽化して危険な空き家・空き建築物の除却や市町村における空き家等対策計画の策定を支援し、災害に強いまちづくりを推進する。	老朽危険建築物(空き家等)除却戸数	累計1,600戸 (R4)	累計2,200戸 (R4)

### 3 行政の災害対応能力の強化

#### (1) 初動体制の確保等、災害対応能力の向上

	取組	取組内容	評価指標	現目標	新目標
目標修正	消防団員の技術力の向上	県消防操法大会において、実践に即した水出し操法を実施するなど、市町村・消防団と協力して、県下の消防団員の技術力、迅速的確な行動、規律、士気の向上を図る。	県消防操法大会の実施	H28、H30、R3年度に実施	H28、H30、R4年度に実施

## Ⅲ 「助かった命をつなぐ」被災者支援の強化

### 1 災害医療の体制の強化

#### (3) 災害対応能力の強化

	取組	取組内容	評価指標	現目標	新目標
目標修正	マイナンバーカードの災害時における利活用	健康保険証としての利用のほか、マイナポータルを通じた被災者支援制度における各手続の申請、特定健診情報や自分の薬剤情報の医師等との共有など、災害時におけるマイナンバーカードの利活用を促進する。	マイナンバーカード交付率	50% (R4)	100% (R4)

## Ⅳ 進展する強靱な社会づくり

### 1 震災に強い産業対策・社会づくりの推進

#### (3) 災害に強い「自立・分散型エネルギー社会」の構築

	取組	取組内容	評価指標	現目標	新目標
目標修正	イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施	次世代エコカーの優れた蓄電・発電機能が災害時の非常用電源として有効活用できることについて、広く県民の理解を深め、普及拡大につなげるため、積極的な取組みの推進を図る。	イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施数	累計30件 (R4)	累計40件 (R4)